

# 農大だより 20号

発行：平成 28 年  
8 月 5 日  
栃木県農業大学校  
〒 321-3233  
宇都宮市上籠谷町  
1145-1  
Tel：028-667-0711

## 「更なる魅力アップを目指して」

栃木県農業大学校長

伊藤 芳郎



この4月に校長になりました伊藤です。よろしくお願いいたします。

さて、最近の本校の話題をいくつかご紹介いたします。まずはじめに、今年度の入学式は、桜が満開の4月6日に、多くのご来賓の皆様のご臨席を頂き、5年ぶりに70名を超える72名の新入生を迎え無事終えることができました。この場をお借りして厚くお礼申しあげます。

次に、野菜専攻では、全農とちぎ様から寄贈頂いた、高性能な高軒高トマトハウスが3月末に竣工しました。現在は、栃木市内にあ



る「ゆめファーム全農」、農業試験場と連携した栽培試験に取り組めるよう、8月10日の定植に向けて準備を進めており、学生たちも夢を膨らませています。

畜産経営学科では、昨年度、高能力の乳牛と和牛を2頭ずつ導入しました。学生たちも胸をときめかせ、実習に励んでいます。

学生寮の利便性の向上を図るため、日中の学生の出入りを自由にするとともに、土日の宿泊も可能としました。また、男子寮については、昨年度末に冷房設備が完備されましたので、この夏は寝苦しい夜から開放されるなど、学生からはとても好評を得ています。

平成27年度本科卒業生63名のうち、雇用就農を含めた就農者は23名でした。また、4年制大学への3年次編入者は2名、約19ヶ月間のアメリカ研修参加者1名となりました。就職者は農業団体、農業・食品関連産業を中心に35名でした。本校では校内で就農促進研修会や農業法人の求人説明会を開催しています。今後とも学生の就業支援に努めて参ります。

ご案内のように、農業は感性の産業であり、創意工夫によっては

大きく飛躍できる産業でもありません。多くの学生や卒業生たちからも「農大は楽しい」という言葉が笑顔で返ってきます。



農業法人の求人説明会

今後とも、学生との対話を図りながら、教職員一同力を合わせて、本県の次代を担う優れた農業者の育成はもとより、時代の変革に対応できる魅力ある農大の実現に向けて尽力して参りますので、後援会、同窓会、関係機関の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

# キャンパスライフ

(28年4月～6月)

## 学生自治会総会



学生自治会総会

4月15日、講堂兼体育館において開催され、平成27年度の事業・決算が承認されるとともに、今年度の農大祭などの事業計画・予算案が可決されました。

増淵力弥会長から、「昨年以上に、楽しく有意義な学生時代の思い出を作れるよう頑張りたい」とあいさつがありました。今後の活動が期待されます。

## 「第29回農業大学校 東関東スポーツ大会」 (栃木県農業大学校開催)

5月27日、宇都宮市清原中央公園と石井緑地を会場として、第29回農業大学校東関東スポーツ大会が開催されました。

大会には本校のほか、茨城県立農業大学校、千葉県立農業大学校、鯉淵学園農業栄養専門学校の4校が参加しました。

今回は5年ぶりに栃木県農業大学校が開催校となり大会が催されました。

当日の午前中はあいにくの雨と



開会式での選手宣誓

なり、当初予定していた清原球場での開会式が、清原体育館主競技場に変更になりました。その後、午後には雨が止み、7競技はほぼ予定どおり実施でき、本校の学生は他校の学生とスポーツを通して親睦を深めることができました。

### 【本校の成績】

バドミントン

優勝

卓球

優勝

卓球個人男子

優勝

(園芸経営学科野菜専攻1年

山田 大史)

卓球個人女子

3位

(園芸経営学科花き専攻2年

渡邊 公実)

バレーボール

準優勝

バスケットボール男子

3位

サッカー

3位



バレーボール



卓球



バドミントン

## 就農に向けた心構えを身に付けた「就農促進シンポジウム」

本科2年生の就農意欲向上を目的として、「就農促進シンポジウム」を6月15日（水）に開催しました。

今年も昨年と同様に、本校を卒業し新規就農や親元就農、雇用就農など生産現場で農業を行っている卒業生を講師として招き、2年生全員が参加した全体会では、経営の概要や就農の動機など、各学科専攻に分かれた分科会では、より詳細な経営状況の他、在校生との意見交換では就農に向けたアドバイス等を頂きました。

講師としてお迎えした卒業生は次の方々です。

（氏名、出身地、卒業年度、学科・コース、経営内容・雇用就農先等）

○小埜 明さん、市貝町、平成22年・総合農学科作物コース、水稻、アスパラガス

○平山 一機さん、那須町、平成24年、研究科、那須ハートフルファーム ほうれんそう、トマト

○岩澤 崇夫さん、足利市、平成

26年・園芸経営学科花き専攻、新規就農 洋ランなど

○飯塚 智史さん、栃木市、平成17年・研究科、ぶどう

○永嶋 ゆう子さん、市貝町、平成21年・畜産コース、酪農

写真左から、小埜さん、平山さん、岩澤さん、飯塚さん、永嶋さん



## 寮生会

「バーベキュー大会を実施」

5月10日、学生寮のバーベキュー大会を実施しました。当日は、

小雨が降る天気となりましたが、機械研修の車庫を利用し、寮生94名参加で寮生相互の親睦を図りました。



## 授業実習風景

### ○農業経営学科

今年度は、1年生21名を迎え、2年生17名と合わせて38名の学生が、水稻、麦、大豆を中心とした土地利用型作物や、ねぎ、かぼちや等の露地野菜について、栽培技

術や経営管理について学んでいます。

1年生は、寮生活や講義、専攻実習にも慣れ、また大型特殊免許も取得するなど、元気に過ごしています。

2年生は、卒業論文の作成に向けた研究テーマを各学生が設定し、試験と調査を行っています。



### ○園芸経営学科野菜専攻

今年度は、21名の新入生（男子15名、女子6名）を迎え、2年生14名と合わせて35名の学生が、いちご・トマトを中心に施設野菜の栽培技術や経営管理について学んでいます。

1年生は5月以降、いちごトマトの専攻別に分かれて元気にほ場実習を行っています。2年生は1年次から取り組んできた課題研究の調査が終了し、これから卒業論文作成に向けて、データの取りまとめ作業が始まります。



○園芸経営学科花き専攻  
2年生9名に1年生11名が加わり、合計20名の学生がキク、カーネーション、ユリ等の切り花やシクラメン、オンシジウム、多肉植物等の鉢花栽培に取り組んでいます。花は品目が多く学ぶことがたくさんありますが、学生は全力で取り組んでいます。



知事夫人にカーネーション贈呈

○園芸経営学科果樹専攻  
今年度は、1年生3名、2年生4名、計7名が果樹の栽培、経営について学んでいます。1年生は果樹の生理生態、栽培法、経営特性の基本を講義と実習により習得します。2年生は、各学生が選択したナシ、リンゴ、ブドウ、ブルーベリーについて課題研究を行

い、果樹への理解をさらに深めています。  
写真は1年生のブドウ摘粒の実習風景です。



○畜産経営学科  
新たに1年生14名が入学し、2年生10名とともに乳牛や肉牛の飼養管理や経営について学んでいます。

1年生は、2年生と一緒に当番制で朝早くから搾乳や給餌の作業をしたり、校外学習で県内の畜産農家や施設を見学してたくさんの方の知識や技術を習得しています。  
2年生は各自の卒業論文に沿った実習を行い、授業では、6月から家畜人工授精師養成講習会が始まり、免許の取得に向けて頑張っています。



【食品加工】  
全学科共通で食品加工実習を行っています。農大産の農畜産物を用いて「トマトソース」や「いももち」等の加工品について学んでいます。



## 「オープンキャンパス」開催

6月1日(水)の第1回オープンキャンパスに、県内農業関係高校7校の生徒72名が、本校を1日体験しました。

生徒たちは、学校の概要説明やほ場・実習施設などの見学、学生食堂での昼食、各出身高校の先輩たちとの交流交歓、希望学科の専攻実習見学など、学生生活を体験しました。



第1回オープンキャンパス

7月24日(日)には、本校に関心のある方とその保護者等を対象にした第2回を開催し、112名の皆様に参加いただきました。



第2回オープンキャンパス

## これからの主な行事 (平成28年8月～平成29年3月)

- 先進的経営体実習 (本科1年生)  
8月29日(月)  
～9月30日(金)
- 意見発表会  
10月21日(金)
- 秋季校内スポーツ大会・収穫祭  
11月2日(水)
- 第40回農大祭  
11月26日(土)  
～27日(日)
- 防災訓練  
12月9日(金)
- 卒業論文発表会  
1月27日(金)
- 卒業式  
3月14日(火)

つかみ取れ

未来の農業 君の手で

本県農業の次代を担う資質の高い農業経営者を、実践的教育により育成するため、学生を募集します。

## 平成29年度生 学生募集について

### 出願期間

・ 推薦入学試験  
9月1日(木)

～9月15日(木)

・ 一般入学試験(前期)  
11月21日(月)

～12月2日(金)

・ 一般入学試験(後期)  
2月1日(水)

～2月10日(金)

### 試験期日

・ 推薦入学試験  
10月28日(金)

・ 一般入学試験(前期)  
1月10日(火)

・ 一般入学試験(後期)  
2月24日(金)

### 合格発表

・ 推薦  
11月14日(月)

・ 一般(前期)  
1月27日(金)

・ 一般(後期)  
3月1日(水)

## 研修科の紹介

### 就農準備校

### 「とちぎ農業未来塾」

栃木県内で農業を始めたいと考えている方が円滑に就農できるよう、基礎的な農業経営に関する知識や作物の栽培技術などを学べる研修を実施しています。

### ① 定年帰農希望者研修

平日の受講が困難な受講生を対象に土曜日に開校しています。農業経営の基本的内容を中心とした講義、実習を行い、研修期間は4月から1月で、本年は4月9日に開校し、研修生は30名です。

### ② 新規就農希望者研修

農業経営の基本的内容を中心とした講義、実習を行う「基礎コース」と各作物の経営、栽培技術など専門的な講義、実習を行う「専門コース」があります。

### ○ 基礎コース

毎週木曜日に開校しています。

研修期間は4月から3月で、本年の研修生は27名です。20歳代から60歳代まで幅広い年代の研修生が受講しています。



経営の高度化を目指す農業者を対象に、経営者としての資質向上に向けた「経営スキルセミナー」や「経営者マインドセミナー」、経営者の個別課題を整理・分析す



## とちぎ農業ビジネススクール

○専門コース  
いちご、施設野菜、露地野菜及び果樹の各専攻に分かれ、研修期間は4月から3月の毎週月、水、金曜日に開校しています。本年の受講生はいちご専攻12名、施設野菜専攻11名、露地野菜専攻6名、果樹専攻3名、合計32名が学んでいます。



## 農業機械研修

「経営改革プランニング」の研修を行います。7月12日に開校し、3月までの9か月間で18回の研修を行います。本年は19名の研修生が受講しています。

農業者及び就農予定者を対象とし農業機械利用の専門的知識・技能について研修します。

### ①農業機械士養成研修

農業機械の効率的かつ安全な利用に関する高度な知識・技術の研修（前期）及び、けん引免許の取得（後期）で構成されます。

②農業機械安全効率利用研修  
農作業事故防止、トラクタ・コンバイン等の保守点検技術と作業技術についての研修です。

## 三友学園や農機メーカーとの連携

### 三友学園との連携

食のプロを育成する「学校法人三友学園」との連携協定に基づき、三友学園生の農業体験の受入を5月20日から6月3日まで延べ6回行いました。

今後は、三友学園において本校学生の調理体験等を行うほか、講義への講師の相互派遣や学校祭・学園祭への参加などを予定しています。

### 農機メーカーとの連携

農機連携協定に基づき、昨年度は農機メーカー等の協力を得て「排水対策」「田植新技術」「新型農機」等に関する新型高性能機械の操作実習を行いました。今年度は8月26日（金）に露地野菜栽培関連機械の操作実習を通じ、「経営の複合化」について学習する予定です。

# 同窓会コーナー

「農の心発信地」

心豊かな

「農の風」

「とちぎの力」



栃木県農業大学校

同窓会長 鈴木源男(源泉)

近年、農業・農村の情勢は、大きく変化を見せています。農業の国際化の中で、活力ある地域社会の創生を図る原動力は、農業者であります。

栃木県農業大学校同窓会は、会員相互の親睦を図りながら農大の発展に協力しております。本校は、農業者の教育研修機関として、時代に即応できる人材の育成に努めており、同窓会として支援してまいります。

そのためには同窓会の皆さんの日常活動の積み重ねが大切です。毎年、本会では、県当局に対し、教育環境の充実などの要望をしております。

栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」のとちぎブランドデザインでは、自然や文化を踏まえ、心豊かに生きる、栃木県の充実した機能や豊かな自然の魅力などを

発信する必要を挙げています。農業は、食料産業であると共に地域の自然資源でもあります。生態系と調和した農業は、地域の絆や輪の場としての機能を併せ持つ、とちぎブランドの主役だと言えますよう。

農大生は、心清き人、心強き人、心深き人、心廣き人の言葉の如く努力しております。最近の地域社会では、近代化等によって連帯感が希薄化の傾向にあります。それでも地域農業環境は、人間関係をうまく調和することができます。ですから農大生は、心をこめて明日をつくる、心身共に健康で強い責任感を持ち、農業を愛好する社会人になるでしょう。

結びに、本年も栃農大祭が11月26日、27日に盛大に開催されます。多くの県民の皆様から期待されており、同窓会コーナーも設置してありますので、会員の皆様には、是非ご来校いただきたく、お待ちしております。

「雄々しき」「澄みゆく」母校、栃木県農業大学校にご協力いただきますようお願いいたします。

平成28年度同窓会事業計画

- ・入学式、卒業式への出席
- ・同窓会入会式への出席

- ・役員会及び総会開催
- ・全国及び関東ブロック同窓会長会議出席
- ・農大だより(同窓会コーナー)作成
- ・「農業大学校に関する要望書」を県へ提出
- ・農大祭(11月26、27日)への参加



27年度県への要望書提出(農政部長と会長・副会長)

## 活動方針

- ・結成支部の活性化を図るとともに、未結成支部の早期結成を推進し、同窓会の強化を図る。
- ・農業大学校の実践教育・学生募集等に対する協力及び援助を行う。
- ・会の発展と円滑な運営を図るための役員会等を開催する。
- ・その他、同窓会の目標達成に必要な活動を行う。

\*詳細は、農業大学校ホームページ(同窓会コーナー)をご覧ください。

## 同窓会入会式

3月10日、鈴木源男会長出席のもと、平成27年度同窓会入会式が挙行され、本年度は本科卒業生63名を新入会員に迎えました。

新入会員を代表して、園芸経営学科花き専攻の渡辺修平さんが、「これからは、栃木県農業大学校の卒業生として、そして、栃木県農業大学校同窓会会員として、誇りを持ち、活躍されている先輩方と肩を並べて歩んでいけるように邁進していきたい」と挨拶しました。



## 新入会員から

大学に編入して

平成27年度 本科  
園芸経営学科花き専攻卒業

渡辺 修平

私は現在、青森県の弘前大学で農業経済について勉強しています。地域農業マネジメント分野の研究室に所属し、特に日本の農業経営の担い手問題や農工商連携・6次産業化などの地域農業問題に関する文献を輪読しています。

私は、農大では花き専攻に所属し、シクラメンの研究をしています。また、学生自治会や寮生会の会長も務めさせていただきました。学校生活はとても楽しく多くの先生方や友達と出会え、とても良い経験をすることができました。



私は将来、滞在型食農体験のできる民宿を経営することと、農業高校の先生になることが夢です。農業の魅力や楽しさ、命の大切さをより多くの人に知ってもらいたい、そして農業や地域の活性化につながれば良いと思っています。

農大では栽培技術や食品加工を学びましたが、さらにグリーンツーリズムや園芸セラピー、地域活性化や農業マネジメントについてもっと深く学びたいと思い4年制大学へ編入しました。

編入学の試験では「小論文、面接」が多くの大学で実施されます。これをクリアするには「考える力・コミュニケーション力」が必要だと思っています。また、これは編入学だけではなく、就職試験でも言えるのではないのでしょうか。どれだけ相手（企業や進学先の学校）に自分をアピールするか、そのためには、どれだけ自分の頭に必要な知識を入れるかが必要なのだと思います。

最後になりましたが、現役の農大生の多くの方は、これが最後の学生生活だと思っています。その学生生活を悔いのないよう楽しく夢を持ち過ごしてください。

名産品を目指して

平成27年度 本科  
農業経営学科卒業

横田 将人



「人の真似をするな。真似されるようなことをしろ」これは父の口癖です。わが家は標高約1200mの高冷地、日光鶏頂山でホウレン草農家を営んでいます。そして、私は現在この地で念願だった農家として、新たな名産品づくりを目指し、大根栽培を始めました。

私は絶対に農家になると決めていたわけではありません。ですが、高校そして農業大学校での様々な出会い、経験が農業を営む後押しをしてくれました。自ら考え行動することの大切さを実感したのも大学校です。そして、何より共に笑い励まし合う貴重な仲間を得ることができました。6月に播種し

た大根が8月下旬には収穫の時期を迎えます。農家1年生の私にとっては悩むことも多いですが、地域の方々や仲間の手を借り、一步一步自分らしく頑張っていきたいと思っています。

臨時補助員になって

平成27年度 本科  
園芸経営学科野菜専攻卒業

本田 直人

畜産経営学科の臨時補助員になって、学生時代にはあまり意識することのなかった指導する立場として物事を考え、教えることの難しさを強く感じるとともに、学生達が逞しく成長していく姿はとても嬉しく感じます。短い時間の中で少しでも学生の手助けを、と日々思っています。

1年間という短かい時間ですが、よろしく願います。

